



くすのき



学校のシンボル
くすの木

令和8年2月27日
さいたま市立土合小学校



学校の河津桜

感謝

校長 日比 圭都

春の訪れを少しずつ感じる季節となりました。今年度も、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。子どもたちが安心して学び、笑顔で日々を過ごすことができたのは、ご家庭の変わらぬお力添えの賜でございます。

【3学期に見えてきた“土合っ子”の成長】

3学期を振り返ると、子どもたちはさまざまな場面で確かな成長を見せてくれました。苦手な学習にも自分から挑戦しようとする姿、友だちと相談しながら工夫して課題に向き合う姿、行事のたびにしてくれた団結力、そして最後まであきらめずやり切ろうとする粘り強さ—どれも、子どもたちの内側に育まれた大切な力です。これらの成長の背景には、ご家庭での日々の励ましや温かな声掛けが支えになっていることを改めて実感しております。

【ICTが“当たり前の学び”に】

今年度は、タブレット端末を活用した学びがより自然なものとなり、子どもたちの学び方にも広がりが見られました。自ら調べ、考えをまとめ、友だちと共有しながら学習を深める姿は、これからの社会を生きるうえで必要不可欠な力となるものです。一方で、「安全に使う」「必要な場面で使う」「使わない時は切り離す」などの基本的な態度は、学校と家庭が同じ方向を向いて育てていくことが大切です。ご家庭でのルールづくりや見守りが、子どもたちの学びの質の大きな支援となっていることに、深く感謝申し上げます。

【学校と家庭は“子育てのチーム”】

学校は、子どもたちの安全と学びを守るため、公平性を大切にしながら日々の判断を行っています。しかし時に、誤解や不安から学校の役割を大きく超えるご要望や、教職員への負担が大きくなるお声をいただくこともあります。学校は、保護者の皆さまと対立する存在ではありません。むしろ、子どもを中心に置き、学校と家庭が互いを尊重し協力し合うことで、子どもたちの成長はより豊かで安定したものになります。建設的なご意見は学校をより良くする力となりますし、必要な点については学校として誠実に説明し、丁寧に対話を重ねながら“子ども最優先”の考え方を共有していきたいと考えています。

【家庭でできる“ちょっとした関わり”が、子どもを伸ばす】

日々のご家庭でのさりげない関わりが、学校での子どもたちの姿に驚くほど良い影響を与えています。朝の挨拶、宿題への寄り添い、PCや端末の使い方のお話、そして小さな成長に気づいて励ます言葉—こうした積み重ねは、子どもたちの自己肯定感と学ぶ意欲を力強く育ててくれています。先日の「巣立ちの会」で見せてくれた6年生の姿には、自信と誇りが満ちていました。ご家庭の長年の支えに、心より敬意を表します。卒業生の皆さんが、次のステージでも大きく羽ばたいていくことを願っております。

来年度も、子どもたちが安心して学び、挑戦し、成長できる学校づくりを進めてまいります。保護者の皆さまには、引き続き温かいご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

1年間ありがとうございました

